市田支店地区において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成３１年３月８日

熊谷市長　富　岡　　清

記

１．会合の対象とした区域
　市田支店

２．会合の結果を取りまとめた年月日
　平成３１年３月６日

３．今後の地域の中心となる経営体の状況
　○　経営体数

法人	３経営体
個人	１８経営体
集落営農（任意組織）	１組織
合計	２２経営体

　○　農地の集積面積
　68.5ha（区域内の農地面積 504.7ha、集積率 13.6%）

４．今後の地域農業の在り方
　現在、高齢化と後継者不足が深刻である。
　また、管理できない農地が増加し、借り受けるにもバラバラである。恩田では荒れている農地が多い。耕作放棄地を２０万円／１反で解消しても、農機具を持っていない場合は、赤字である。
　集積するにも、水が出ない所は、大きくまとめすぎても耕作できなくなってしまう。
　また、交付対象外水田の扱いや農地の相続手続きの煩雑さも課題である。高低差がある農地の集積は難しいため、出来るところから集積を進めていく。
　恩田～手島で農地中間管理事業の実施を検討してもよいと考える。
　また、農地中間管理事業は理想だが、併せて基盤整備も実施しないと、借り手がつかない。軽微なほ場整備以外も、費用を農地中間管理機構が全額負担してくれると良い。